

手をつなごう

平成19年1月29日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 28

第5回専門家チーム・巡回相談員 連携会議開催！1月22日



この会も回を重ねて、今年度5回目となりました。

まず2学期の巡回相談実績として「巡回相談員86回、専門家チーム員6回」という派遣回数の報告をしました。1学期は41回、専門家チーム員5回でしたから、ずいぶん増加しています。ちなみに昨年度は9月～3月で13回でしたから、段違いの派遣回数です。サポート事業が広く知られるようになった結果であると同時に、困っている子どもたちがたくさんいるということなのだろうと思います。

3学期に入ってから、来年度から特別支援教育制度に転換していくことに伴って、校内研修の依頼が増えています。

また、年度の終わりにあたり、担当が変わってもスムーズに支援が続けられるよう、引き継ぎについての協議もしました。

グループに分かれての協議では、○どこまでやったら終わりが曖昧で、ゴールが見えなくなってしまうケースがある。

○養護学校に知的な遅れが軽度の子どもの数が増えてくると、高等学校と同じような生徒指導上の問題が出てくる。

○巡回相談員が校務分掌に位置付いていると支援に出やすい。

○依頼先の学校の体制を作るための支援をどうしたらよいだろうか？

○個への指導と集団への指導の両輪で考えていく必要性を痛切に感じている。

○各校、いろいろな立場の者がコーディネーターをしている

が、校内支援と校外支援の兼ね合いをどうしていけばよいかなど、多くの話題が出ました。

それらに対して答えはすぐには見つからないのですが、専門家チーム員の先生方から貴重なアドバイスをいただきながら話し合いを深めることができました。



お薦め図書コーナー ★読んでみませんか？★

あなたの身近に「気になる子」はいますか？それはどんな子どもですか？

「気になる子」は決して問題児ではありません。理解と支援を必要としている子どもに過ぎないのです。

この本は、子どもたちの発達を応援する田中康雄先生の大変分かりやすい本です。気になる子どもたちをどう理解し、支援したらよいのか…。軽度発達障害の基礎理解や本人・保護者のサポート、リソース・システムやネットワークづくり等、特別支援教育の体制づくりに役立ちます。園だけでなく、小学校等でも活用できる本です。ぜひご一読ください。



わかってほしい！気になる子
田中康雄監修 学研 税込1600円